# 設楽発掘通信

No.27 平成29年 5月号

平成二十九年度の発掘調査が始まります

行って、遺物を取り上げ、記録を残す必要があります。り、工事によって壊されたり水没したりする部分については、事前に発掘調査をり、工事によって壊されたり水没したりする部分については、事前に発掘調査を設楽ダム関連事業に関わる工事予定地や水没する地区には数多くの遺跡があ

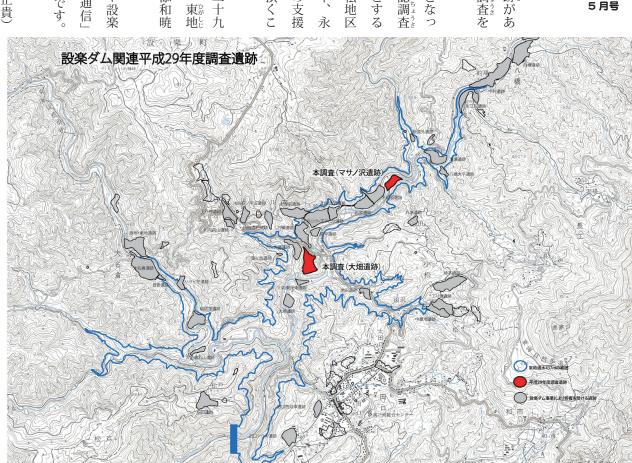
平成 29 年度発掘調査予定の2遺跡

を受けて進めて参ります。 井邦仁、 の大部分が終了しており、 とが最も大事と考えています。 本調査のみを実施する予定です。 て行います。昨年度までに、 シマサ この発掘調査は、 早野浩二、 、沢遺跡の一 一遺跡です。 松田訓、 今年度も引き続き、 平成二十九年度では、 調査を円滑に行うには、 本調査を行う必要がある区域を調べる範囲確認調査 鈴木恵介の六名の調査員で、 よろしくお願い申し上げます 発掘調査を担当するのは鈴木正貴、 調査する遺跡は川向地区の大畑遺跡と小松地区 愛知県埋蔵文化財センターが中心となっまいちけんまいぞうぶんかざい 滅失する遺跡全体を対象とする 地元の皆様にご理解を頂くこ 株式会社二友組の支援 永井宏幸、

が担当します。 遺跡の整理作業を弥富市にある愛知県埋蔵文化財調査センターで行い、川添和暁年度は二十六年度と二十八年度に発掘調査を行いました大名倉地区の西地・東地年度は二十六年度と二十八年度に発掘調査された遺跡の整理作業に着手します。二十九また、本年度からすでに発掘調査された遺跡の整理作業に着手します。二十九

どうぞご期待下さい。や各遺跡の地元説明会などを実施して、調査成果などをお知らせする予定です。や各遺跡の地元説明会などを実施して、調査成果などをお知らせする予定です。事務所を開設します。ここを拠点として、昨年度までと同様に「設楽発掘通信」さらに、本年度より設楽町田口の旧県保健所に愛知県埋蔵文化財センター設楽

(愛知県埋蔵文化財センター 鈴木正貴)



### 設楽発見伝3」 を終えて

きました(写真1)。発掘調査を始め成果報告会の開催まで、 発掘調査成果報告会『新設楽発見伝3』を開催し、百五十名の方々にご参加頂 三月五日(土)に、設楽町役場議場で、 平成二十 八年度設楽ダム関連 埋蔵文化財事業

担当者, の準備を進めてまい 調査で記録しました、 現地での発掘調査は、 東地遺跡、 から報告を行ったほか、 滝瀬遺跡の四遺跡の本調査と、 りました。成果報告会では、 図面や写真などの整理を行 昨年の十二月に終了 あわせて出土遺物の展示を行いま しました。 川向東貝津遺跡、いからむきひがしがいっその一方で、は 範囲確認調査について、 その一方で、よた。年明け一月か 大栗遺跡、 調査

群が出土している様子は、スライドの画像を見ても圧巻でした(写真4の背景 時代から縄文時代草創期(今から約一万八千年前~一万二千年前頃)の石器群 写真と写真6)。 大栗遺跡では、 の調査が行われました。 この年度も調査成果が充実していました。川向東貝津遺跡では、 かつての境川の河床礫が露出している景観の脇で石器 土石流堆積などで遺跡の保存状況が良くない 後期旧石器

とい

われてい

たものの、

かったことは、

九千年前頃か)

ても重要です

(写真2)。

西地・東地遺跡では、





成果報告会「新設楽発見伝3」の様子

黒色

5 は、 た。 まって見つかり、

遺

平成 29 年 3 月 4 日 (土)

もので、

敷石建物跡と言わいまいしきいしたでものあと 床面に石を敷い 子が明らかとなりまし 構など当時の集落の様 見がありました。 の遺物包含層の中か 跡・配石(集石)遺と 建いせき (集石)遺 建物跡の 縄文時代後期前葉 関東・東海東

跡と言われる

一つは、

た

大栗遺跡 煙道付炉穴(上)と模式図(下)

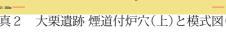


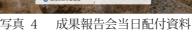


写真 3 滝瀬遺跡 敷石建物跡

写真2

### 文時代後期初頭(今から約四千四百年前)頃の貯蔵穴などの大型の土坑がまと や縄文時代中期(今から約五千年前頃か)の竪穴建物跡が見つたものの、今回の調査で縄文時代早期の煙道付炉穴(今から約 やはり当時の地形が残されている部分のあることがわかり、 当時の集落の全貌が明らかとなりました。また、滝瀬遺跡で (今から約四千年前頃)の遺構群の調査でめざまし 二年前の調査に引き続き、

い発







た(写真3)。また、かつての伊那街道と思われる道路跡も見つかりました。 部・甲信越地域に多く見つかっているもので、愛知県下では二例目となりまし ご来場の方々には、長い時間にも関わらず熱心にお聞き頂くことができま

現場での地元説明会をはじめ、 た。埋蔵文化財事業は皆様のご理解があってのものと考えております。今後も、 お越し頂けると幸いです。 機会あるごとに成果のご報告を行う予定です

からダウンロードできますので、ご利用下さい(写真4) なお、この成果報告会配布資料は愛知県埋蔵文化財センター のホー

器時代の石器です。

これ

下にあるのは、

後期旧石

ています。

方、

写真左

などの石材が多く使われ

関連する剝片

しており、溶結凝灰岩関連する剝片が多く出土

文時代草創期の尖頭器と 要な石器となります。

は細石刃や細

石核とい 幅一センチ

わ

れるもので、

## やとみ新発見展二〇一七

年度があけた四月には、

埋蔵文化財調査センター(弥富市)で、

春の埋蔵文

を連続してはがしとっ

にも満たない細長い剝片

7

います。

使用石材は、

と3が黒曜石、

2 が

一呂石で、

もとの礫の表

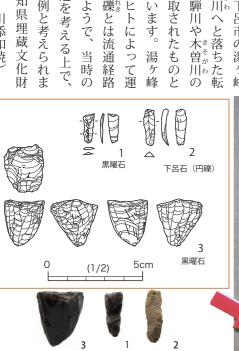
円礫

化財展「やとみ新発見展二〇一七」が行われました。この展示は、埋蔵文化財 センターが前年度行った遺跡の成果を近隣市域の方々にお知らせする展示で 四月初めの土曜日と日曜日を中心に、 展示の半分以上が、 この設楽ダム関連調査の成果であり、ご来館頂い 春の埋蔵文化財展「やとみ新発見展 2017」 計千二百七十八名の方にご来館頂き たが、 ありますが、 頂くことができますので、 展示期間は四月十六日で終了しまし ついてお伝えする良い機会となりま した (写真5)。収蔵庫を開放した た方々には、 平日には引き続き展示をご覧 よろしければご来館 設楽地域の調査成果に 遠方では

ました。

をまとめて展示して から縄文時代草創期の石器群のコー 「やとみ新発見展二〇一七」 向東貝津遺跡の二年間の調査成果 -の写真で、 その中でも、 現場で確認され 後期旧石器時代 います 写真 た主

ただければと存じます。 では、 6 石で、飛騨川や木曽川のから飛騨川へと落ちた転 ばれ 貴重な事例と考えられま 石 が異なるようで、 付近からヒト 言われています。 河原で採取されたものと の状態となっています。 面が残されており、 る岐阜県下呂市の湯ケ峰ト呂石の円礫は岩帯のあ る岐阜県 (愛知県埋蔵文化財 た角な 流通を考える上で、



尖頭器 川向東貝津遺跡 (北設楽都設楽) 写真 6 川向東貝津遺跡出土後期旧石器時代から縄文時代草創期の石器群

有舌尖頭器

縄 と

# 今年度発掘調査を行う遺跡のご紹介

位置することから、 大畑遺跡は、 昨年度調査の行われた川向東貝津遺跡や、 川向地区の境川右岸にあります。設楽大橋に最も近い遺跡であ これらの遺跡との関わりも注目されています。 大栗遺跡と同じ丘陵の頂上部に

昨年の平成二十七年度に範囲確認調査を行い、 を掘削し、 遺跡の状況を確かめました。 一八二カ所のトレンチ

の遺構が発見される可能性もあります その結果、 近世の陶磁器や砥石が多く見つかる場所もあることから、この時代 多くの遺構と縄文時代中期~晩期の土器、 石器が見つかっていま

湧水が存在することが挙げられます。 ングリなど)を水にさらすことなどの痕跡が発見されることも考えられます。 発掘調査面積は一三, 大畑遺跡の特徴としては、 九五〇㎡を予定しています 湧水を利用した作業、たとえば堅果類(ド 丘陵上であるにもかかわらず、豊富な









大畑遺跡の範囲確認調査出土土器と石器

削し、遺跡の状況を確かめました。 挟まれた立地にあります。 を実施し、一三〇カ所のトレンチ 西方向約六〇〇mに位置し、 る遺跡です。昨年度調査が行われた滝瀬遺跡の南 マサノ沢遺跡は、 小松地区の境川左岸に位置す 昨年度範囲確認調査 境川と県道10号線に (試掘坑) を掘

規模な開墾作業が行なわれ、 考えられ、磨製石斧や石棒も出土しています。 マサノ沢遺跡は昭和二十三から二十四年頃に大 その結果、多くの遺構と遺物が確認されまし 出土した土器の年代は縄文時代中期~晩期と 土器棺をはじめ多量

た。

調査面積は二, 遺構の遺存状況は良好なようです。 (愛知県埋蔵文化財センター 鈴木恵介) ○五○㎡を予定しています。

の結果、

の土器・石器が出土していますが、



調査予定地の現況



範囲確認調査の様子

### No.27 平成29年5月号

編集・発行 公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

## **愛知県埋蔵文化財センター**

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802の24 電話 (0567)67-4161 [管理課] http://www.maibun.com 4163 【調査課】

Twitter https://twitter.com/aichi\_maibun https://www.facebook.com/maibunaichi

株式会社 二友組

印刷

協力